

# グループ紹介 ②③

## 墨香会



青年講座の書道の部の人たちが、1年間の同コースの終了を機に結成した書道の会です。結成が昭和56年4月ですから、今年で8年目を迎え、その間に会員も入れ替わり、発足当時から会員は石倉光威会長だけとなりました。

書道は書を書くだけの会となりがちのため、これまでに書に関係のある拓本、筆作り、紙すき、安田焼などの見学のほか、ハイキング、懇親会も行ってきました。

一方、昇段試験にも挑戦し、これまでの最高は5段。発表の場として、青年教育センターで開催される青年の祭典や、県青年大会にも出品しています。講師の富井カズ先生は「書道の会としてここまで長く続くのもめずらしい。皆さん熱心ですし、上達も早い」と話します。練習は毎週火曜日夜7時から10時まで。青年教育センターで行っています。

石倉会長は「新入会員はどなたでも大歓迎ですが、できれば若い男性からも参加してほしいですね」と話します。入会希望者は、同会事務局の小林肇さん（魚町1・☎373-1725）へ連絡してください。

### 会員の声

吉川純子さん  
(中央通1・27歳)



友達に誘われて、昨年の3月末に入会しました。書道という堅苦しいイメージがありますが、若い人もどんどん入会していますし、とても気軽に参加できます。先生が丁寧に指導してくださるので、練習にも身が入ります。練習が終わってからのおしゃべりは、とても楽しいですよ。

ある時、ふと「不思議だのオ」と言ったところ「何が？」といぶかしげに問われた。なぜなら、例えば、この心臓の鼓動一つを考えると、一分間に仮に六十回と計算してみよう。すると一時間で三千六百回、一日に八万六千四百回、一年で三千百五十三万六千回。七十五歳の私では二十三億六千五百二十万回と、気の遠くなるほど絶え間ない動き。更に、この細胞の命には二人の親がいる。その親は四人、八人、十六人とさかのぼる。十代前には千二十四人、二十代前には十萬五千三百七十六人、三十代前には一億七千七百七十七万二千



東樹友次さん（鷺嶋、無職・75歳）

### 不思議とは 時間と空間の接点に生きる

四人、四十代前には二兆四十六億二千三十四万五千五百五十二人と、無限の過去につながる不思議をしみじみと思う。また、私たちの周りには、魚、牛肉、鶏卵、植物、太陽、塩、衣食住は無限の横のつながりをもち、おかげを蒙っている。「縦」という時間と「横」という空間の接点に生かされてきた自分を思うと、ただ不思議と感じる。若い時は「不思議」というと、迷信のようにも思い、最も嫌っていたものだが、今となっては見えない世界が見えてくる。これが不思議と実証される世界を歩みつつあるとは。

## 市民談話室 皆さんのお便りをお待ちしております

市民談話室のコーナーでは、来月号から次のテーマで皆さんの声を掲載する予定です。気軽に投稿してください。

**八月「お盆」** 遠方の兄弟や親類の里帰りなど、お盆ならではの楽しみをお便りください。

**九月「味」** グルメブームに沸く昨今ですが、ご当地ならではの味、旅先の名物の味、おふくろの味など、味のあるお話をお待ちしております。

**十月「スポーツ」** 健康づくりに始めたスポーツや青春時代にすべを忘れて打ち込んだスポーツ、勝利の喜び、痛恨のブレイク、楽しい仲間たちなどのお便りをどしどしお寄せください。

また、テーマ以外でも、皆さんの周りの出来事や、ふだん考えていること、市に対する意見など、これまでも同様にお寄せください。原稿の長さは400字から500字程度としますが、紙面の都合上、文を短くすることがあります。締め切りは前月の15日、あて先は〒950-112 白根市大字白根1235 白根市役所企画調整課広報広聴係です。

# 市民談話室



以前、車で関西を旅行した時の帰りに、名古屋で道に迷ったことがある。国道だと思っただけなのに、地方道だったのだ。さすがに中京工業地帯を支える動脈だと感嘆したことである。今、白根市では、国道8号の四車線化と、白根バイパスが



### 道路の話 生活の動脈として十分な幅員を 阿達新一さん（松橋、農業60歳）

いからいやだと言いましたが、夏の夕べには、スーッと耳もとを走り抜けるような笹の音が話しかけ、雪の中の竹やぶは父を思わせるような大地の偉大さを

感じさせました。春になると、その偉大な大地のあちこちに、ニョキニョキとたけのこが頭を出し、あのむせるようなにおいが何とも好きでした。息子が成人した今、西笠巻にも、ほとんどの道路沿線にも、あの竹やぶが姿を消してしまいました。あの竹の林は幻だったのでしょうか。



### 農大講座に参加して 自分に肥やしを 山口正代さん（上八枚、酪農・20歳）

昨年「農業大学講座」に参加しています。三十人余りの人が集い、稲作や果樹、コンピユータなどの専門講座や、全員が受ける総合講座で勉強しています。少し堅苦しい講座名なので、緊張して臨んだのですが、参加してみると、皆さん屈託のない

人たちがばかりで、ほっとしました。私は畜産の専門講座に参加していますが、基礎的な知識が得られ、たいせつなことだと実感しました。家には聞くことのできない人の話や、多くの友人もできました。私は、今年も自分に肥やしを与えられたらと思います。



### 短歌

雨予報みごとはずれて五月晴  
花火轟く運動会の朝  
中村 京

### 俳句

大風のからみて水面赤く染め  
夕暮れに時を知らせる寺の鐘  
内藤 作一

### 川柳

外堀を埋め談合をガイドする  
西条 ムラ  
新人類カローリ食って生きている  
早川 英男  
ポシエットにギヤルが詰める流行語  
山岡 フミ  
初物を断って百度の往き帰り  
吉川 彰  
家計簿の許可が出てから酒にする  
米野 光雄

